

JDCC会員(含むグループ会社) ONLY

JDCC人材育成ガイドライン対象講座 (日本ヒューレット・パッカード合同会社講座)

V1版

2022/2/14改訂版

【対象講座選定条件】

- ・センタ運用技術者向けのITに関する一般的、基礎的な講座
- ・ITSSのレベル1、レベル2を主体とした講座
- ・技術面の向上を対象とした講座

日本ヒューレット・パッカード合同会社 トレーニングWebトップページ: <https://education.hpe.com/jp/ja/training/index.html>

※下記のURLの参照Webページは一般公開用の内容であり、JDCC価格とは異なります。

項番	分類	対象レベル	他講座との重複有無	講座ID	講座名	受講日数	e-ラーニング標準時間	参考受講料・定価(税別)	JDCC価格(税別)	コース内容概要	コース内容	講座内容詳細(URL) (コースID、価格は一部向け)	
1		レベル2	—	HK258S	Certified Data Center Professional 〈含認定試験〉 (データセンター・プロフェッショナル認定コース)	2日	—	160,000	144,000	このコースでは、データセンターのファシリティ(施設)について、その基礎知識と用語を学習します。 電源、空調、セキュリティ、立地と建物、SLAとOLA、消防設備など、データセンターの施設を設計/運用/管理する際に避けて通れない項目を分かりやすく解説します。 データセンターだけでなく、企業内外の小規模～大規模サーバールームの管理/運用業務にも必須の内容です。 コース最終日には、データセンター・プロフェッショナル認定試験を実施します。 合格すると、CDCP(TM): Certified Data Center Professional資格を得ることができます。	1. データセンターの重要性 2. データセンターにおける規格 3. データセンターの建物立地条件と構造 4. フリーアクセスフロアと吊り天井 5. ドキュメンテーション 6. 電力設備 7. 電磁界 (EMF) 8. 冷却 (空調) 9. 給水設備 10. 拡張性のあるネットワーク基盤デザイン 11. 消防対策と安全性 12. データセンター監視 13. セキュリティシステムとオペレーション 14. ラベル付けの方法 15. ドキュメンテーション 16. クリーニング (清掃) 17. MTBF/MTTR/MTTF 18. SLA、OLA、メンテナンス契約 19. CDCP 試験対策 20. CDCP 認定試験	https://www.hpe.com/jp/ja/training/course/hk258s.html	
2	データセンター設備	レベル2	—	HU003S	Certified Network Cabling Design Professional〈含認定試験〉 (ネットワーク・ケーブリング・デザイン・プロフェッショナル認定コース (CNCDP))	2日	—	240,000	216,000	データセンターのケーブリングについての技術的な知識、設計(データセンター内外のネットワークケーブル、バックシステムなど)、その実装方法について学習します。 ベンダーに依存しない、世界で通用する認定研修と試験のセットです。日本では、HPEでのみ受講および受験が可能です。 このコースでは、ケーブルシステムの設計と設置に必要な、技術標準、さまざまなケーブルシステムの設計、材料要件の計算、アーキテクチャ、設置、テスト、及び承認などを含む、詳細な知識情報を提供します。データセンター・ネットワーク・デザイン・プロフェッショナル認定試験に合格すると、CNCDP®: Certified Network Cabling Design Professional資格が取得できます。	1. 構内配線システム (SCS) の概要 2. フロア内配線および全体管理 - オフィスビル 3. フロア内配線および全体管理 - データセンター 4. 建物のバックボーン - オフィスビル 5. バックボーンの構築 - データセンター 6. アーキテクチャに関する考慮事項 7. ケーブルシステム/バックボーン 8. 現場の検査と試験	https://education.hpe.com/jp/ja/training/docs/cds/hu0d3s.pdf	
3		レベル2	—	HK763S	Certified Data Center Facility Operations Manager 〈含認定試験〉 (データセンター・ファシリティオペレーションマネージャ認定コース)	3日	—	270,000	243,000	データセンター ファシリティを運用管理するためのベストプラクティスを習得します。 ベンダー管理 メンテナンス契約 安全性・法令要件管理 サービス品質保証契約 (SLA) 管理 物理的セキュリティ管理 日常のデータセンター ファシリティ オペレーション マネージャ認定試験に合格すると、CDFOM(TM): Certified Data Center Facility Operations Manager資格が取得できます。	1. データセンター運用チーム 2. ベンダー管理 3. メンテナンス契約 4. 安全性・法令要件管理 5. サービス品質保証契約 (SLA) 管理 6. 物理的セキュリティ管理 7. 日常のデータセンター管理・フロア管理と性能検査 (モニタリング)および退役(デコミッショニング) 8. 容量管理 9. ケーブル管理 10. データセンター清掃と有害生物駆除 11. 機械設備・電気設備のメンテナンス体制ベストプラクティス 12. データセンター監視と自動化 13. ドキュメント/記録管理 14. 設備ライフサイクル管理 15. CDFOM 試験対策 16. CDFOM 認定試験	https://www.hpe.com/jp/ja/training/course/hk763s.html	
4	データセンター運用	レベル2	—	HU002S	Certified Data Center Facility Operations Specialist〈含認定試験〉 (データセンター・ファシリティオペレーションスペシャリスト認定コース)	3日	—	270,000	243,000	ミッションクリティカルなデータセンターの日常業務を実行するための要件を扱います。 日常業務を実行し、どのプロセスを導入する必要があるかを理解し、それらのプロセスの重要な要素とその実行方法を理解するために必要なすべての能力を習得できます。 データセンター ファシリティ オペレーション スペシャリスト認定試験に合格すると、CDFOSTM: Certified Data Center Facility Operations Specialist資格が取得できます。	1. サービスレベル管理 2. 安全と危機管理 3. 物理的セキュリティ 4. 施設のメンテナンス 5. データセンターの運用 6. 監視報告管理 7. プロシユク管理 8. 環境の持続可能性 9. ガバナンスとコンプライアンス く参考>CDFOMとCDFOSの違い CDFOM データセンターの運用で日常的に作業する人を対象 例えば、機器の保守、電算室のIT機器の設置撤去などに携わる方 基本的には工学レベルを対象 CDFOS チームリーダー/スーパーバイザー/マネージャーを対象 ベンダー管理、SLA管理、安全とセキュリティのポリシーと管理、エネルギーアプロキシメーション、容量管理/容量管理などの組織問題など	https://www.hpe.com/jp/ja/training/course/hu0d2s.html	
5	データセンター環境	レベル2	—	H38DTS	Certified Data Center Environmental Sustainability Specialist 〈含認定試験〉 (データセンター環境サステナビリティスペシャリスト認定コース)	2日	—	240,000	216,000	データセンターの環境のサステナビリティ(持続可能性)に特化した研修です。 データセンターが環境に与える影響、環境の持続可能性、電力効率、電気エネルギーの節約、水管理、廃棄物管理、持続可能なエネルギーの使用、自動化された環境管理システムなどを扱います。 データセンター環境サステナビリティスペシャリスト認定試験に合格すると、ODESS®: Certified Data Center Environmental Sustainability Specialist資格が取得できます。	1. データセンターが環境に与える影響 2. 環境の持続可能性とは 3. 環境管理 4. 電力効率インジケータ 5. 電気エネルギーの節約(電気) 6. 電気エネルギーの節約(機械的)	7. 電気エネルギーの節約(ICIT) 8. 電気エネルギーの節約(データストレージ) 9. 水管理 10. 廃棄物管理 11. 持続可能なエネルギーの使用 12. 自動化された環境管理システム	https://www.hpe.com/jp/ja/training/course/h38dts.html

その他、レベル3以上の上位講座

1		レベル3	—	HK259S	Certified Data Center Specialist <含認定試験> (データセンター・スペシャリスト認定コース)	3日	—	270,000	243,000	データセンター ファシリティの構築に際して、設計のレビュー、ベンダーからの各種提案の妥当性の判断、実情に適した装置の選択などに必要となる詳細で実務的な知識を網羅します。また、既存のファシリティを評価・改善するスキルを習得できます。 コース最終日には、データセンター・スペシャリスト認定試験を実施します。合格すると、CDCS(TM): Certified Data Center Specialist資格を得ることができます。	1. データセンター設計 2. 規格とTierレベルの定義 3. 建物に関する検討事項 4. フリーアクセスフロア/吊り天井 5. 電力設備(上級) 6. 電磁界 (EMF)	7. 冷却(空調)設備(上級) 8. 消防対策(上級) 9. ケーブル管理とラベル付けの方法 10. 監視に関する仕様 11. データセンターの効率 12. CDCS 試験対策	https://www.hpe.com/jp/ja/training/course/hk259s.html
2	データセンター設備	レベル4	—	HK260S	Certified Data Center Expert<含認定試験> (データセンター・エキスパート認定)	5日	—	450,000	405,000	データセンタープロジェクトの構想、計画、設計、構築、運用、撤去の各ライフサイクルにおける詳細な実施項目や着眼点を、順を追って習得します。 併せて、ANSI/TIA-942におけるTier4レベルデータセンターの主要な要件についても学ぶことができます。また、それらを演習とディスカッションを通じてシミュレーションすることにより、データセンターのマネジメントに必要なエキスパートレベルの知識を習得できます。 演習とディスカッションでは、データセンターのライフサイクル、サイトの検証、構築プロジェクトの課題などを、習得します。 Tier4レベルデータセンターにおける設計や運用のプランを検討する課題もあります。 受講者どうしでのグループを組め、個人あるいはグループに割り当てられたケースを案に演習を行い、その結果を元にディスカッションすることで、より深い理解ができるようになります。 データセンターファシリティの企画・構築や事業計画をご担当する方向けのコースです。 コース最終日に実施されるデータセンター・エキスパート認定試験に合格すると、ODCE®: Certified Data Center Expert資格が取得できます。	1 データセンターのライフサイクル 2 設計—準備フェーズ 3 設計—計画フェーズ 4 設計—構築フェーズ 5 構築—調達フェーズ 6 構築—建設フェーズ 7 構築—設備稼働フェーズ 8 構築—設備検査とシステム検証 9 構築—引渡 10 撤去—計画フェーズ 11 撤去—退役フェーズ 12 撤去—終フェーズ 13 ODCE試験対策 14 ODCE試験 (ご注意: ライフサイクル研修の場合は研修期間中の試験実施はございません。研修終了後、お客様のご都合に合わせた日程でご受験いただけます。オンライン試験の詳細はこちらをご参照ください。)		https://www.hpe.com/jp/ja/training/course/hk260s.html